

# 令和2年度 湖西市文化財保護審議会

## － 会議録 －

日 時 令和3年2月8日(月) 13時00分～14時40分  
会 場 市民活動センター2階大会議室

### ○出席者

委 員	◎渡辺 和敏	
	○牧野 茂	
	平野 克典	
	後藤 建一	
	片山 愛司	
	小林 浩二	
事務局	渡辺 宜宏	湖西市教育長
	岡本 聡	湖西市教育次長
	尾崎 修	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 課長
	竹中 幹晴	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 課長代理
	鈴木 紀子	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 係長
	大須賀 広夢	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 主事

◎：会長 ○：副会長 傍聴人：0名

### 1 開会

### 2 あいさつ

渡辺教育長

### 3 会長・副会長互選 会長挨拶

- ・渡辺委員を会長、牧野委員を副会長に互選。

### 4 報告事項

- ・市内無形民俗文化財について  
委員：無形民俗が取りやめになる前に、今のうちに映像記録を残しておくべきではないか。  
事務局：そのように考えている。
- ・トキワマンサクについて  
委員：神座の推進委員のトキワマンサクへの保護意識は高いが、高齢化が著しく新たな人材確保が課題。また、トキワマンサクの保護についても昔ながらの風習でやるのが好ましいため、その環境を守りながら現状を維持していくのがひとまずの課題である。
- ・大知波峠廃寺跡について  
委員：大知波峠廃寺跡に手を入れようとする人がおり、また調査・整備から長い期間が経過したため石垣等の崩壊が目立つ。ぜひ整備してもらいたい。  
委員：大知波峠廃寺跡と普門寺のつながりはないのか。同じ山城として一緒に調査や保全の活動などはできないのか。  
委員：普門寺については豊橋市にあり市が違うため難しい。また、大知波峠廃寺跡の実際の遺構は地下にあるため、手を入れたとしても遺構が傷つけられる心配はないが、史跡地な

ので問題行為であることには変わらない。また、近年はイノシシによる獣害が目立つ。石垣の崩壊等もイノシシの影響だと思われる。

事務局：新居関跡の整備が終了したのち大知波峠廃寺跡の整備をしていく予定ではあるが、新居関跡の整備事業が長引いており、また整備にあたって史跡保存活用計画を策定する必要があるため、実際に取り掛かることができるのはしばらく先のこととなる。

委員：どのように整備していくのか。

事務局：今後検討していきたい。

## 5 諮問 「浜名湖湖底遺跡出土品」について

委員：調書の文章が全体的に伝わりづらい。遺物を発見した経緯や有識者の名前、他の有識者の所見等も記載するべきである。また、今回指定外となる残りの湖底遺跡出土資料 2200 点は今後どうしていくのか。

事務局：北部多目的センターの文化財倉庫で保管していく。

委員：そのことも文章化するべきである。今回指定する 131 点は時代が明確になったものというのを明記すべきである。指定することに異議はないが将来も残るものなので丁寧な文章にするべきである。

委員：一括指定には賛成である。今回指定する 131 点以外にも時代等がわかれば追加指定すればよい。ただし、「浜名湖湖底遺跡」の名称については漠然とした印象を覚える。弁天島にも湖底遺跡はあるため、場所がわかるような名称が良い。新居町史では「浜名湖新居町沖湖底遺跡」という名称になっているため統一するべきではないか。

委員：水中遺跡という性格上難しいとは思いますが、今後調査をしていく予定等はあるか。

事務局：今のところはない。

委員：開発等で消滅する恐れはないか。

事務局：湖底遺跡はそれぞれ包蔵地になっている。

委員：浜名湖は県の管轄なので、もし開発等がある場合は県の対応となると思われる。また名称については、複数遺跡からの出土品を一括して指定するので「遺跡群」という言葉を入れたほうが良い。「浜名湖新居町沖湖底遺跡群」としてはどうか。

委員：窯跡見学の時も思ったが、記録だけでなく遺跡を保存できればよい。

委員：他に湖底遺跡があるのはどこか。

委員：琵琶湖などにある。

委員：鎌倉と現代の気候はそう変わらなかったと思っている。気候による海面変動というより、地震による陸地の地盤変動過程がわかると言えるのではないか。

委員：740 年の「浜名郡輸租帳」に新居の地名がすでに記載されているが、平安時代の「和名類聚抄」には新居郷の記載がない。また、条里制遺構等の研究からかつて陸地だった場所が度重なる地震で地盤沈下を起こし、その結果湖底に沈んだと考えられる。

また、湖底遺跡の出土品は縄文時代のものが多数を占めており、湖西市の他の縄文時代の遺跡と比較しても卓越した量である。このことから、縄文時代の遺跡の中心地は現在沈んでしまった場所であり、また骨角器の残存量からも貝塚があると想像される。これのことから縄文期に陸地であった場所が浜名湖に沈み、現在の湖底遺跡群を形成していると考えることができる。

委員：湖西に他に貝塚はないのか。

事務局：貝が出土している遺跡はあるが、貝塚といえる可能性があるのは郷北の西脇遺跡。ただし遠江地域は貝塚が希薄な地域だといわれているため、見つかっていないのか、貝塚の数がもともと少なかったのかはわからない。

委員：今回回答申をまとめるのは難しい状況となってきた。今回の遺物は指定物件として適当であるため、早いうちに調書を訂正し再提出してほしい。

委員：指定も重要だが、同時に展示等の活用についても検討してもらいたい。蜷塚遺跡の改修に合わせて PR ができるかもしれない。

継続審議とし、R3 年度の早いうちに次回の審議会を開催することで合意

## 6 閉会

(以上)